

第5投目：視野を広く持つこと

2013.3 月某日、風は北東から東に方向を変え、波の高さは 1.5mと久々に私の休みに西側海域へ釣行できる天気予報になりました。

その日は大会ではなかったので我が釣りクラブでは私一人、渡船は私の他に 5 名のお客を乗せ 6 時に出港しました。向かったのは瀬戸内町の西側に位置する曾津高崎周辺の磯場、冬場の北西風ではたいてい時化している場所なので、毎年 3 月ぐらいにならないとなかなか渡礁できるチャンスがない海域です。



さて、今回降りた磯は初めての場所。以外と釣り座が高いことに驚きながら、まず高台から周りを見渡しました。冲向きの船着けはある程度水深があり魚も見やすく取り込みも楽そうですが、左側は一面サラシが水面を覆う浅場です。魚を見つける場所は冲向きで、喰わず場所は左向きでしょうか。さっそく撒き餌を開始すると、すぐにアイゴが海面をたたくほどの活性で餌を拾いだし、その中でイスズミも高速で泳ぎ回っています。クロが飛び出すのを今か今かと待ちましたが、そう簡単には冲向きの撒き餌には姿を現さないようです。

サラシ場で仕掛けがどのように馴染むのか…とまずは左向きで釣りを試してみます。一見良さそうに見えるそのエリアですが、仕掛けを入れてみるとなかなか仕掛けは安定してくれません。たまにうまく流れに差し込んでアイゴに餌が取られるばかり。『う～ん、どうしたもんか?』上げが良いと言われるこの磯、満潮まで残りは 3 時間ほどです。

ふとみると、沖の沈み瀬からたまに発生して伸びるサラシの流れが、岸側の岩に当たる箇所を見つけました。そこは 15mほど仕掛けを遠投しなければ届かない場所ですが、やってみる価値はあります。流れに撒き餌を遠投し、岩に流れがぶつかるタイミングに磯際ギリギリに刺し餌を入れ込む努力を繰り返して 3 投目、重量感のある魚がヒット!

磯際で幾度も突っ込みを見せるその魚はこの日最初のクロだったので。それからたまに発生する流れを待ちながら撒き餌と仕掛けを遠投する釣りを続け、結果 4 枚の釣果 (1 枚はリリース



サイズだったため写真には写っていません)。姿すら見つけられなかった魚…不思議なことに一日を通していろいろな場所を釣り試し、他の場所ではアタリすらないのですが、クロが出たのは 4 枚ともその流れとその場所です。うまくポイントを見つけられたことはラッキーだったのですが、それができなければその日はクロに出会えなかったでしょう。海を幅広く観る目の重要さをあらためて感じた釣行になりました。